

来春、
高槻ミュージックキャンパス
開設

新たな世界を切り拓く 「考動力」を備えた人間を育てる

関西大学初等部・中等部・高等部、児童・生徒募集を開始(いずれも設置認可申請中)

2010年4月、関西大学はJR高槻駅前に「高槻ミュージックキャンパス」を開設します。新キャンパスでは本学初となる小学校をはじめ、中学校、高等学校、大学、大学院を設置し、同一キャンパス内での一貫教育を展開することになります。児童・生徒募集開始にあたり、開設準備を推進してきた米津俊司 中等部・高等部校長と田中明文 初等部校長(いずれも就任予定者)に話を聞きました。



●中等部・高等部 校長就任予定者
米津 俊司

●初等部 校長就任予定者
田中 明文



●初・中・高等部の教育目標

米津 関西大学の教育理念である「学の実化」に基づき、小中高一貫教育を通して「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」という4つの力をバランスよく育て、高い倫理観と品格を兼ね備えた「高い人間力」のある人間を育てることをめざしています。国際理解力というのは、単に英語力をつけるというのではなく、異文化理解や他国の人と共に生きていける力をつけることであり、我が国の文化への理解を深めることも含まれています。ネイティブの外国人教師が体育や家庭科等の授業に入って教えるというダブル指導体制を導入するほか、キャンパス内に茶室を造り、茶道や礼儀作法も教育活動や部活動に取り入れます。子どもだけでなく、保護者も一緒に伝統文化に触れる機会を作りたいと考えています。

●カリキュラムの特色

米津 初・中・高等部を通しての教育の特色として、まず、「英語考動力を育む」ということがあげられます。初等部1年生から毎日15分のモジュール学習を取り入れ、3・4年生では3時間、5・6年生では4時間の英語学習を実施します。中等部では週7時間の英語授業で実践的な英語力を育て、高等部では将来にわたって役立つ専門的な力をつけます。また、海外の提携校との交流や英語会宿、海外英語研修なども計画しています。

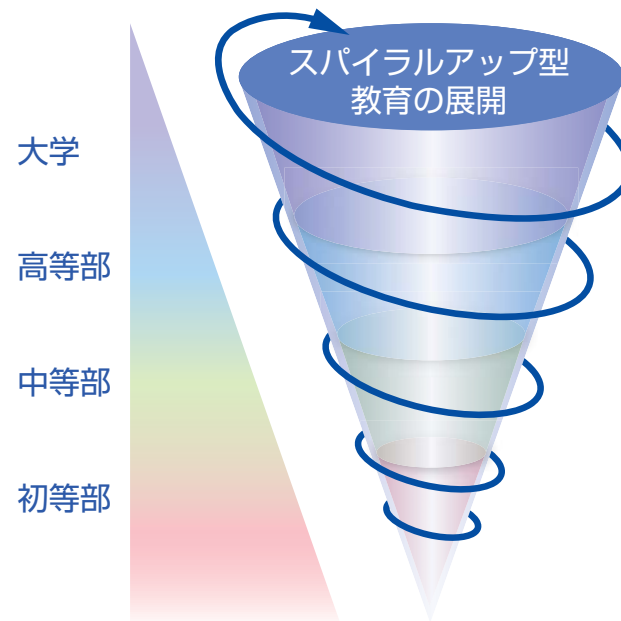
2つ目は、発想、思考、表現力を高める「ICT教育」です。コンピュータの使用法を教えることが目的ではなく、表現やコミュ



「英語考動力」を育む初等部英語教室

ニケーション、学習のツールとして、様々な学習の中でインターネットやコンピュータを活用することが私たちの考えるICT教育であり、全国に先駆けた教育となります。

3つ目は、「高い思考力」を育てる教育です。各学校段階での接続ギャップのない「スパイラルアップ型教育」を導入し、内容を深めながら発達段階に応じて繰り返し学び、確かな学力を身につけます。12年を見据えたカリキュラムだからこそ、必要などころに十分なパワーを注ぐことができるのです。



●その他、特長的な取り組み

田中 他にはない取り組みとして、「e-Portfolio (電子ポートフォリオ)」の導入があります。子どもたち一人ひとりの活動や学習の記録、作品等を12年間を通し、データとして蓄積するのです。子どもたちは過去の自分の成績、読んだ本、レポート等すべてを振り返ることができます。また、教師は子どもたちを



高槻ミュージックキャンパス

深く知ることができ、生活指導や進路指導のツールとしても役立てます。

読書教育にも注力し、図書館に専門家を入れた12年間の読書指導の展開により、子どもたちに自らの読書生活を創造させます。また、ICTとの併用で、広い知識が得られるようになるでしょう。



読書生活を創造する図書館

米津 総合情報学部や地域と連携し、従来の教室での学びだけではなく、他校や地域社会などと共に学ぶ「ハイブリッド型教育」も実践します。例えば、地域の医療機関と連携しながら生命について学習し、安全問題に取り組みます。まわりには自然環境も整っているので、自然体験学習や環境学習にも取り組む予定です。

米津 新キャンパスにおける私たちの夢は「ファミリー」として子どもたちを育てることです。今の子どもは兄弟が少ないため、我慢する、分け与える、思いやりを持つ、優しくする…などの人間力の基本となる力が弱いように思います。だからこそ、一貫教育の中で縦の人間関係を大切にしたい。初等部生には少しだけ未来のモデルとして中等部生がいます。高等部生は初・中等部生にお手本とされることで責任感も培われるでしょう。教育とは、教師と子どもが互いに気持ちを共鳴し合い、子どもたちの「人を信じられる心」「生きる勇気」「自分に対する自信」等を育てながら、夢や希望を実現する力を養っていくことだと私は考えます。そして、私たちはそういう学校をめざしています。世界で活躍する心の豊かな人間を育てたいのです。